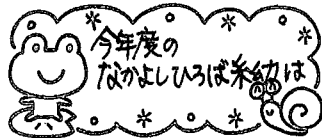


～子育て応援情報誌～ 糸魚川幼稚園



6月の多い6月がやってきました。子どもたちにとると思いつき外で遊ぶより本カをもて余けり。私たちにとると洗濯物が乾きにくく嫌で。ゆゆうた気分になりがきの時期です。でも小動物や草花、農作物にとると恵みの雨と評判。晴れの日も履きたい長靴の出番が多い!! 傘を扱う練習ができる!! せか準備したレインコートを着れる!! などウキウキすることを考え、おごましようね。そして、梅雨期ならではの衛生管理や健康管理に十分お気をつけてください。

さて、この「なかひろタイムス」を発行してからまる4年が経過、この6月号から5年目に突入時。子育てに対する考え方は、人それぞれまた十人十色だと思います。思い悩むご時に家族や知人、友人(今では、世界中の他人にも)相談することもでき、行き詰まった時にもこのタイムスを読んで気分がス〜と楽になつてもらえたら〜と願って書いています。今回は、QRコードから読みといた画像や文面、動画から気軽に情報を取り入れ見たい時に見たいだけ見れる時代となっています。しかし、読んでくれる方の顔は見えないでも勝手に想像しはからTHE昭和方式で作成しておきます。ごめんなさい(私の少くだけ応援させてください)ね。

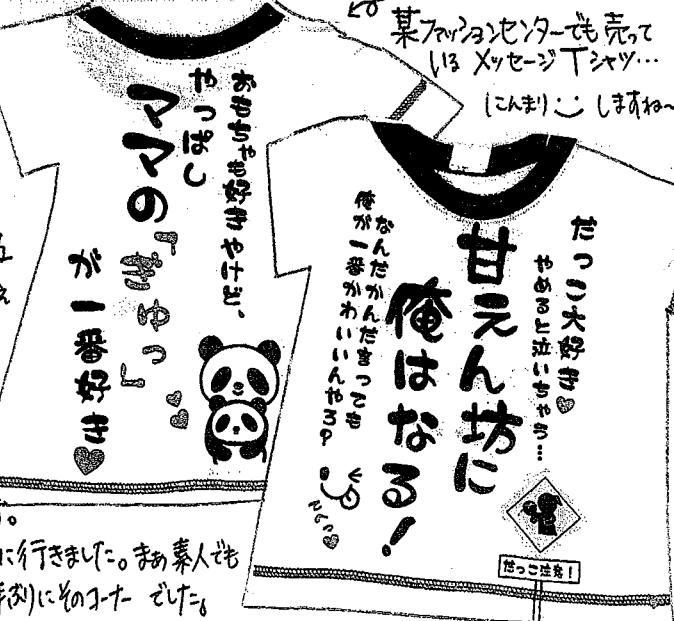


今年度のなかひろは糸魚川。社会状況を考慮しながら、スタート時期を検討中です。決断次第お知らせします。お楽しみに!



下着(肌着)

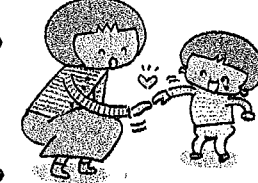
近年、下着を着ないで、肌の上に直洋服だったり、いわゆる下着はなく洋服を下着代わりに洋服を2枚だつたりする子どもを見かけます。下着は、下着の機能がある(汗を吸ったり、逆に摩擦による保温効果がある)ため、それ使用で考えられ作られ(素材や型、タグが外側に付いていたり...)していると思います。下着売場に行くと玉道のグンゼ以外多種多様な品揃えで迷うと思つたが... 下着と下着として着ることをお勧めします。



先日、年頃の娘と年頃用の下着を求めに行きました。おま着人おわたりや説明と陳列に感心。数十年前にこの子でして。

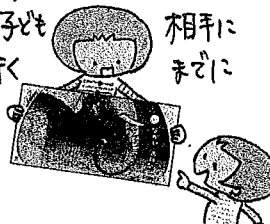
～乳幼児健診あるあるの巻～

これも我が子をもたない経験できないことのひとつですね〜。矢張り、1か月健診—産婦人科病院に行くので、何でかたがたしく、(私は市外の病院だったので)少しおどけ気分でした。そして入院中は、みんな同じ産着で〇〇Babyというネーミングだったのが、それぞれ立派な名前があり、服もそれぞれで、何か数週間おたがいで『人間』っぽく見えまじい。一方、母親たちは、THEおひん&入院着だったのが、それぞれ着飾って(私は高嶺出産だったので)「実はみんな若かったんだ〜」と思うほどきれいな服を着ていました。



4か月健診—糸魚川保健センターへ入りに行きました。当時は改築前だったので老朽を感じました。おかしなところが、子どもが幼い分おかしな時間にもみなさん大きな荷物でした。

10か月・1歳6か月...—ここまできると、同じ月齢でも成長の個人差が出てきます。でも周りとおかしな比較をしないことをおすすめします。しかしなぜか幼い子どもあつた時間設定なんておかしな。早目にお昼を済ませ保健センターまで行く眠たくなつた、到着すればくざりん子、ご機嫌なため、とりあえず泣いてみる、と思えば、会場にある目新しいおもちゃに飛びつき、親子あつたの時間もセンターのおもちゃに夢中。私... 冷汗。



2歳児・3歳児—びっくりしたのが、イラストを見て「これは!!」と聞かれ名称を言うコーナー(今は変わったかもしれないが)新幹線の絵!! 当時開業されてばかり機会や興味もなければ矢張り黒い靴の絵!! ズックならぬけど靴に履いて出合ってません!! だっこの昭和っぽいイラストで、って言うか、その地域、時代に合ったイラストにしてほしいわ〜と思つた。



でも... 健診ってドキドキしませんか!? 家でお家にすぎしている環境とは全く違う雰囲気、『すくすく育てます』印を付けて十分なのに「何で言われるの?」「どこがおかしいところあるかな?」(離乳食指導の時)「そんな忠実にやらない... ヤバい」とか色々と考えてしまう。そのおかしな心情が子どもにも反映するの、普段やらないことをやらせ、更にその一瞬の姿を見て、〇〇教室の〇〇園など紹介されるし、確かに親と違う視線でみてもらうことも必要で、同じ月齢の子が集まると判りやすいものもありませんか? 保健士さんの言葉、重たく、今更考えてもいないことを言われ、園の担当に「〜と言われまじい? 園ではどですか!」と相談に来られた方もいまして。いつもと違う環境で初めて出会う人の中で見せる姿、日頃お家の人と過ごしている時の姿の方が、その子本来だと思つたのが...



まあ第三者の意見も時には参考に... 子どものことで悩む時間ってモヤモヤして長く感じますが、決して無駄ではない大切な時間だと思つた。そして子どもが子どもでなく大きくなり親になつても我が子である限り、悩み考え続けたいと思つた。さてさて、3歳児健診の次は、40歳の節目健診の案内がくるかな〜